

製造業のビジネスチャンスが見える
モノづくり最新情報サイト
じゃぱんお宝にゅ〜す
<https://japan.otakaraneews.com>

じゃぱんお宝にゅ〜す

モノづくり現場の未来を見つける
製造業応援サイト
じゃぱんお宝WEB新聞
最新情報満載！好評配信中！

大阪大学・神戸製鋼所 「KOBELCO未来協働研究所」設立

大阪大学産業科学研究所に「KOBELCO未来協働研究所」設立 「モノづくり革新ソリューション」を開発・社会実装し、 広範な産業分野における様々な課題解決を目指す

11月1日(火)
開所式執り行う

国立大学法人大阪大学と株式会社神戸製鋼所(KOBELCOグループ)は10月1日、大阪大学産業科学研究所(阪大産研)に「KOBELCO未来協働研究所」を設立。11月1日(火)、関係者による開所式が執り行われた。

本協働研究所では、「人がシステムと共に成長しながら、創造性豊かにイキイキと活躍できる“ものづくりの世界”の実現」を目指していく。

設立に至る背景

モノづくり産業にとって、現場で働く人々の成長促進とノウハウの継承・

強化、並びに製造プロセス技術の革新は、必須の活動です。近年は脱炭素化など急激な環境変化にもさらされており、これらの活動の重要性はさらに増している。今後、少子高齢化による労働力の減少が予想されている中、これらの活動を継続・活性化させる必要がある。その課題解決のために、人とデジタル技術とが共存しながら進化するモノづくりの実現が不可欠であり、モノづくりの革新を行うためのソリューションを社会実装していかなければならないと考えている。

阪大産研は基礎研究にとどまらず、研究成果を産業界や社会の変革に活かす取組みを行ってきた。特にAIなどのデジタル技術分野では世界トップクラスの実力を有しており、社会実装を通じたさらなる研究の深化を目指している。一方、KOBELCO



KOBELCO
未来
協働研究所
KOBELCO Future Pioneering
Co-Creation Research Center

グループは、「社会課題をお客様と解決する、製品並びにソリューションのプロバイダーを目指す」というDX戦略方針の下、幅広い事業分野で培ったデジタルソリューションを、社内適用にとどまらず社会課題の解決に広く活用したいとの想いを有している。今回、両者の想いが一致し、協働研究所設立に至った。

新規事業創出 企業価値向上

「KOBELCO未来協働研究所」では、阪大産研シーズと融合して「モノづくり革新ソリューション」を開発・社会実装し、広範な産業における課題解決を目指していく。加えて、共創により新規事業を創出し、KOBELCOグループの企業価値を向上させていく。

■KOBELCO未来協働研究所の概要

- ◆所長：鷲尾 隆教授
- ◆副所長：友近 信行特任教授(常勤)
- ◆所在地：大阪大学 産業科学研究所 インキュベーション棟 I-108室
- ◆〒567-0047 大阪府茨木市美穂ヶ丘8-1
- ◆構成要員
大阪大学側：7名(産業科学研究所及び大学院基礎工学研究科)、
神戸製鋼所側：招へい教授2名を含む約20名。

■ロゴのモチーフは、風、雲、船。
“社会の流れ(風)を柔軟に受け止め、湧きたつ課題(雲)を解決し、ゴールを目指す船”の想いを込めてデザインされている。

(※資料提供：神戸製鋼所)



■神戸製鋼所URL→ <https://www.kobelco.co.jp/>